

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 イワブチ株式会社
 コード番号 5983 URL <http://www.iwabuchi.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 克明
 (氏名) 池谷 謙一

TEL 047-368-2222(代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,110	△11.1	72	△63.5	109	△48.1	67	△3.0
23年3月期第1四半期	2,374	4.4	199	273.3	211	216.4	70	97.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 32百万円 (△37.0%) 23年3月期第1四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.19	—
23年3月期第1四半期	6.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第1四半期	17,890		13,301		74.3
23年3月期	18,671		13,377		71.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,301百万円 23年3月期 13,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,732	△15.2	206	△65.6	226	△62.4	128	△46.0	11.65
通期	10,069	△17.7	445	△65.7	487	△63.5	280	△57.5	25.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	11,000,000 株	23年3月期	11,000,000 株
24年3月期1Q	10,524 株	23年3月期	10,524 株
24年3月期1Q	10,989,476 株	23年3月期1Q	10,991,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「1.(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や、電力の安定供給に対する懸念など市況に与える影響は大きく、不安定かつ先行きも不透明な状況が続いております。

当社グループの大口需要家である東京電力では、福島第一原子力発電所の事故収束に向けた対応を最重要課題として取り組まれており、当社グループに関連する配電線路・通信線路分野においても工事が減少するなど厳しい状況となっております。

また、ブロードバンド関連においても、昨年度全国的に実施された整備工事や、地上デジタル化に向けた対策工事が終盤を迎えており、工事は大幅減となっております。

一方、情報通信関連においてNTTでは、基本施策である次世代ネットワーク(NGN)への投資優先の方針に変わりはないものの、震災後の復旧工事に大きく傾注されており、東北や北関東への出荷量は増加傾向にあります。

このような厳しい状況のなか、当社グループの生産部門では、海陽イワブチの生産特性を活用し、更なる新製品の投入、労働集約型製品の生産移管の推進、中国国内市場や他分野の新規参入など継続的に取り組んでおります。また、営業部門では、新たな取組みである高耐食めっき製品「MAG+1(マグプラスワン)」の拡販に加え、顧客への積極的な訪問による新商材の発掘など、全社的に精力的な活動を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億1千万円と前年同期に比べ2億6千3百万円、11.1%の減収となりました。また、経常利益は1億9百万円と前年同期に比べ1億1百万円、48.1%の減益となり、四半期純利益は、6千7百万円と前年同期に比べ2百万円、3.0%の減益となりました。

セグメントに代わる需要分野別の業績は次のとおりであります。

① 交通信号・標識・学校体育施設関連

交通信号・標識関連では、震災への対応措置が優先され工事設計などの業務に遅れが生じており、工事は低い水準で推移しました。また、学校体育施設関連でも、防球ネットや照明に関連する工事が延期や中止になるなど低調に推移しております。その結果、売上高は1億4千6百万円と前年同期に比べ3千万円、17.4%の減収となりました。

② ブロードバンド・防災無線関連

ブロードバンド関連では、全国的なブロードバンド整備工事は昨年度がピークだった事に加え、また、本年7月の地上デジタル化へ向けての対策工事も概ね終盤を向かえていることから、工事は少ない状況が続いております。その結果、売上高は3億4千9百万円と前年同期に比べ1億8千9百万円、35.2%の減収となりました。

③ 情報通信・電話関連

情報通信関連では、震災の影響により工事計画が延期や中止になるなど受注量が大幅減となっております。電話関連では、東日本を中心に震災後の復旧工事が旺盛に推移しました。その結果、売上高は5億9百万円と前年同期に比べ3千9百万円、7.1%の減収となりました。

④ 配電線路関連

配電線路関連では、福島第一原子力発電所事故の影響から各電力会社でも、原子力発電所への安全対策費用や、化石燃料の使用率増加に伴うコスト増への懸念から予算の執行が先送りされており、当社グループに関連する配電線路工事が減少するなど厳しい状況となっております。その結果、売上高は7億4千8百万円と前年同期に比べ2千4百万円、3.2%の減収となりました。

⑤ その他

民間設備投資では、震災によるサプライチェーンの寸断から全国的な資材不足により工事が停滞した結果、受注量は低調に推移しました。一方、鉄道関連では、東日本を中心に踏切の電力供給工事が実施され、好調に受注を確保した事から、売上高は3億5千6百万円と前年同期に比べ2千1百万円、6.4%の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億8千1百万円減少し、178億9千万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億3千9百万円減少し、106億4千3百万円となりました。

これは、主に商品及び製品が3億8千5百万円増加したことで、現金及び預金が1億9千8百万円、受取手形及び売掛金が9億7千6百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4千1百万円減少し、72億4千7百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が4千6百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ7億4百万円減少し、45億8千9百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が1億1千3百万円、未払法人税等が3億2千8百万円及び賞与引当金が1億4千万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ7千6百万円減少し、133億1百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が4千1百万円、その他有価証券評価差額金が2千7百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月16日に公表しました「平成23年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,327,666	5,128,789
受取手形及び売掛金	4,004,677	3,027,960
商品及び製品	1,502,272	1,888,240
仕掛品	107,358	110,562
原材料及び貯蔵品	245,433	269,894
その他	322,958	292,322
貸倒引当金	△127,650	△74,748
流動資産合計	11,382,716	10,643,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,977,090	1,945,730
土地	2,865,320	2,865,320
その他（純額）	856,151	840,747
有形固定資産合計	5,698,562	5,651,798
無形固定資産		
投資その他の資産	109,145	121,930
投資有価証券	1,013,689	978,739
その他	580,861	650,909
貸倒引当金	△113,305	△155,800
投資その他の資産合計	1,481,246	1,473,847
固定資産合計	7,288,954	7,247,577
資産合計	18,671,671	17,890,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,700,839	1,586,997
短期借入金	358,000	358,000
未払法人税等	382,500	53,830
賞与引当金	260,262	119,604
製品点検補修引当金	50,000	50,000
その他	366,902	329,076
流動負債合計	3,118,505	2,497,509
固定負債		
長期借入金	1,123,000	1,033,500
退職給付引当金	527,948	528,676
役員退職慰労引当金	346,312	357,595
その他	177,913	172,293
固定負債合計	2,175,174	2,092,066
負債合計	5,293,680	4,589,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,210,656	1,210,656
利益剰余金	10,628,946	10,586,959
自己株式	△2,473	△2,473
株主資本合計	13,334,079	13,292,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,347	67,330
為替換算調整勘定	△50,435	△58,398
その他の包括利益累計額合計	43,911	8,931
純資産合計	13,377,991	13,301,023
負債純資産合計	18,671,671	17,890,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,374,303	2,110,930
売上原価	1,588,961	1,480,538
売上総利益	785,341	630,391
販売費及び一般管理費	586,120	557,734
営業利益	199,221	72,656
営業外収益		
受取利息	1,176	1,103
受取配当金	17,530	18,981
受取賃貸料	4,678	4,368
貸倒引当金戻入額	—	10,405
持分法による投資利益	5,929	4,902
その他	2,338	3,868
営業外収益合計	31,653	43,629
営業外費用		
支払利息	3,861	4,689
貸倒引当金繰入額	11,250	—
為替差損	3,939	1,599
その他	9	24
営業外費用合計	19,060	6,314
経常利益	211,814	109,971
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,947	—
特別利益合計	9,947	—
特別損失		
固定資産除売却損	179	153
投資有価証券評価損	103,220	—
特別損失合計	103,400	153
税金等調整前四半期純利益	118,362	109,818
法人税等	48,307	41,839
少数株主損益調整前四半期純利益	70,054	67,979
少数株主利益	—	—
四半期純利益	70,054	67,979

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,054	67,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	△27,017
為替換算調整勘定	△17,843	△7,962
その他の包括利益合計	△17,691	△34,980
四半期包括利益	52,363	32,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,363	32,998
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその付随製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。